学校番号	３０２９

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	１単位	年次	２年次前期
使用教科書	「詳述歴史総合」　（実教出版）						
副教材等	「明解歴史総合図説　シンフォニア」　（帝国書院） 「詳述歴史総合　徹底整理演習ノート」　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史の学習とは、歴史用語の暗記であり自分の人生には関係ないと思っている人がいるかもしれません。しかし、あなた自身あるいはあなたの身近なことは、多分に歴史の影響を受けています。ふだんそのことに無自覚なのではないでしょうか。「歴史総合」で近現代の歴史を学ぶことで、あなたは自分がどのような歴史的な流れのなかに身を置き、「世界」とつながっているのかを自覚することができます。そうすることであなたは、よりよい社会、よりよい人生を築いていくことができるのです。授業で興味を持ったことは、自ら読む、行くなどしてさらに調べ理解を深めてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史に関わる諸事象について、世界と日本とを広く相互的な視野から捉え、現代に繋がる近現代の歴史を理解し、史料からの情報を適切・効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解、他国を尊重することの大切さの自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:世界とその中の日本に存在する様々な課題についての歴史的な経緯を理解する。 技能:文献や絵図、遺物や遺構、地図、統計など歴史学習に関わる様々な資料や、具体的な体験を伴う学習によって得られた幅広い諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、歴史に関わる事象の意味や意義、特色、事象相互の関連を多面的・多角的に考察する力、歴史に見られる課題を把握して、学習したことを基に複数の立場や意見を踏まえ、その解決を視野に入れて構想できる力を身につける。また、考察、構想したことを再構成しながら議論する力を身につける。	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	国際秩序の変化や大衆化と私たち	□第一次世界大戦と大衆社会 □経済危機と第二次世界大戦	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b:　国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 c:単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。	考査 課題 リアクションペーパー	考査 課題 リアクションペーパー	発表 課題 リアクションペーパー
前期期末考査まで	グローバル化と私たち	□冷戦と脱植民地化 □多極化する世界 □グローバル化と現代世界	a:資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b:グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 c:単元に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度